

| カテゴリ        | コンテンツ                |                                 |
|-------------|----------------------|---------------------------------|
| 授業づくり       | Society5.0時代の学校情報化   | GIGAスクール時代のICT活用入門              |
|             | 主体的・対話的で深い学び         | 高等学校における総合的な探究の時間の指導            |
|             | Let's Try！消費者教育      | 学習者主体の授業におけるICT活用               |
| 教科等指導力      | 体育授業と子供の健康           | 安全の視点からの保健体育授業                  |
|             | 発想が広がる図工・美術の題材I・II   | 授業実践に必要な英語スピーキング力向上講座1・2        |
|             | 教科の指導法(社会)           | 思考力・表現力を育てる算数教材「結び目」            |
|             | 中学校・高等学校数学教員のための数学   | 道德教育を推進できる教師であるために              |
|             | 音楽科における教材研究と授業デザイン   | 小学校理科化学実験基礎                     |
| 子ども・人理解     | 子ども理解の教育心理学          | 子どもの心に耳をすます・感情の社会化を促す関わり        |
|             | 特別支援教育の現状            | 教育相談・学校生活における具体的な支援             |
|             | 養護教諭 ー力量形成のための理論と実践ー | 配慮を要する子ども・特別な援助ニーズのある子どもへの指導、支援 |
| 教員としての基本的資質 | 学校安全と危機管理            | 人権の尊重                           |
|             | 児童生徒理解を深めるために        | 教頭業務の実践～業務の効率化をめざして             |
|             | 特別支援教育入門             |                                 |
| 協働          | 組織的対応の必要性和チーム学校づくり   | 地域や保護者との連携                      |
|             | 組織マネジメントとミドルリーダーの役割  |                                 |
| 人材の育成       | 子どもの変化と教職について省察する    | 若手教員の育成                         |
|             | 学校を元気にするメンターのすすめ     |                                 |
| 現代的課題       | 外国にルーツのある子どもへの日本語指導  | SDGsの学習:基礎理論編・教材研究編・カリマネ編       |
|             | 医療を必要とする子どもたちへの理解と支援 | 新しい食の安全を考える-遺伝子組換え・ゲノム編集        |
|             | 幼保小接続期の保育・教育         | 指導主事・管理職のための<br>外国人児童生徒等教育入門    |

問合せ先

国立大学法人 大阪教育大学 学術連携課社会連携係  
E-mail : renkei@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

国立大学法人 愛知教育大学 地域連携課講習支援係  
E-mail : menkyo@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

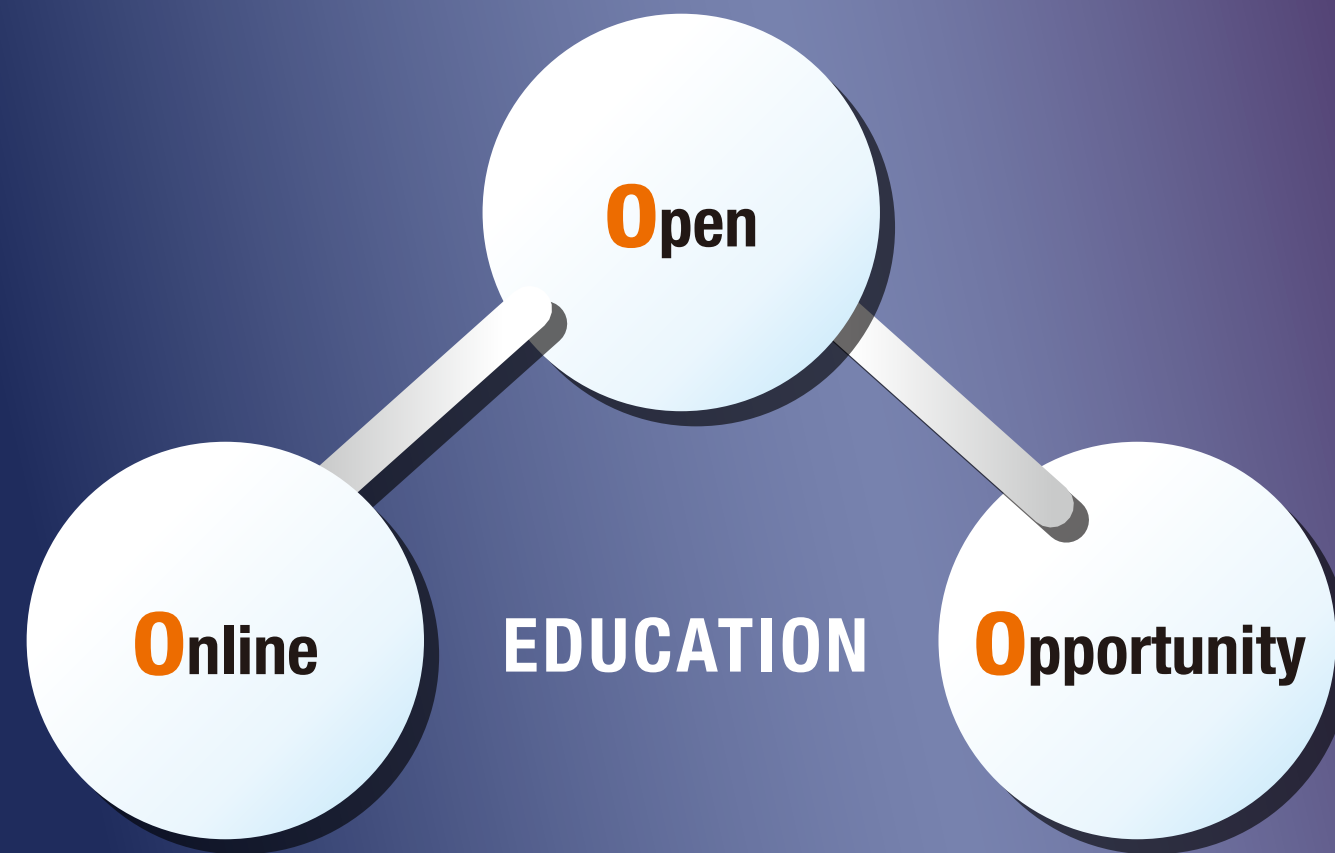


HP : <https://o3edu.osaka-kyoiku.ac.jp/>

教員生涯学習プラットフォーム



# ozone EDU



自ら学び続けるすべての人々へ

教員生涯学習プラットフォーム OZONE-EDU “オゾン” は  
良質なオンライン研修を提供し、教員の自律的な学びを支援します。



大阪教育大学  
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY



国立大学法人  
愛知教育大学  
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

教員研修に  
求められる  
こと

- 社会の急速な変化に伴う・教育課題の複雑化・多様化への対応
- 「新たな教師の学び」への対応
- 教員の負担軽減に向けた取り組みへの対応

## ozone EDU で実現できること

教員の  
自律的な学びを  
サポート

デジタルバッジによる  
受講履歴の  
管理・可視化

教員育成指標と  
対応した  
体系的な学び

### メリット

教育委員会/  
学校法人

- 研修・教材開発の負担軽減
- 研修記録の適切な管理・指導助言

教 員

- 自律的な学び
- マイクロラーニングによる学習の負担軽減

## ozone EDU 受講の流れ

ユーザー登録をすれば  
誰でも利用することができます。

STEP  
1

### 受講登録

カテゴリ別に分類されたコンテンツの中から**受講科目を選択**することができます。

STEP  
2

### 受講 マイクロラーニング

「いつでも」「どこでも」「自由に」自分のペースで学習できます。  
1つ1つのビデオは**2分～15分程度**で構成されており、隙間時間に少しずつ学習を進めることができます。

STEP  
3

### 課題

- ビデオを見た後、振り返り課題に合格後、スタンプを取得できます。
- 全てのスタンプを取得後、最終課題に合格することで、バッジを取得することができます。

STEP  
4

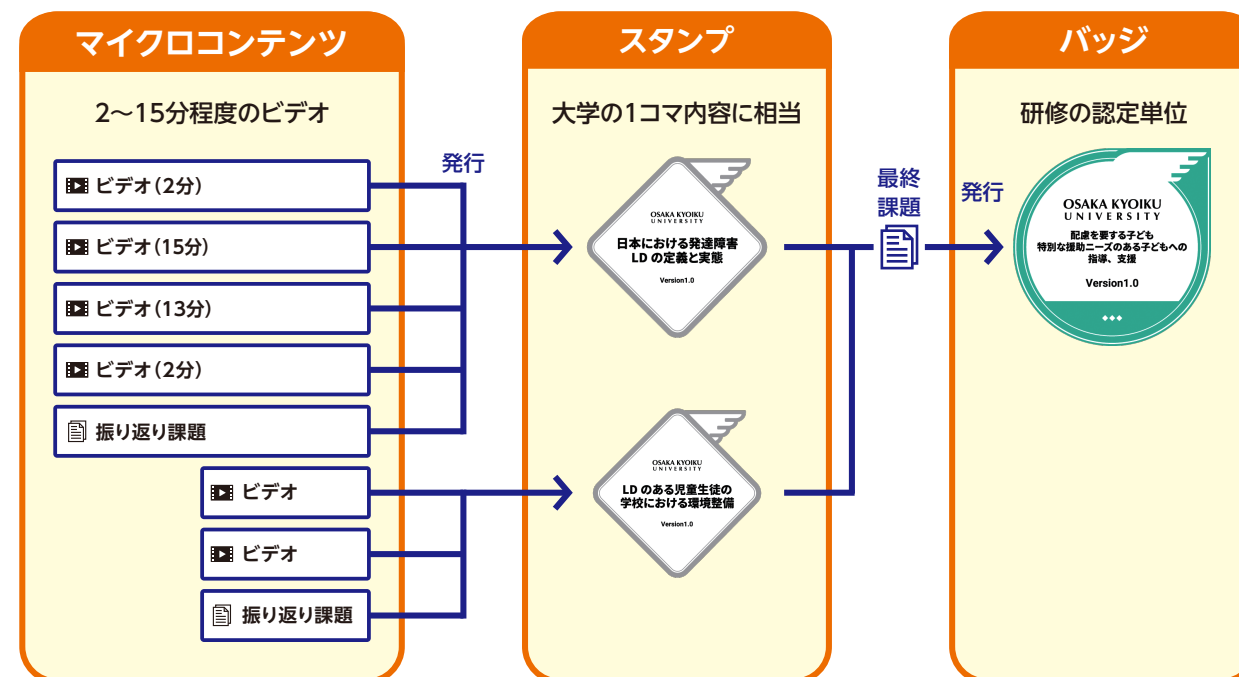
### デジタルバッジの発行

すべての学習内容を修了することで、デジタルバッジが発行されます。デジタルバッジは研修履修等の電子的な証明となります。

## マイクロラーニングとは

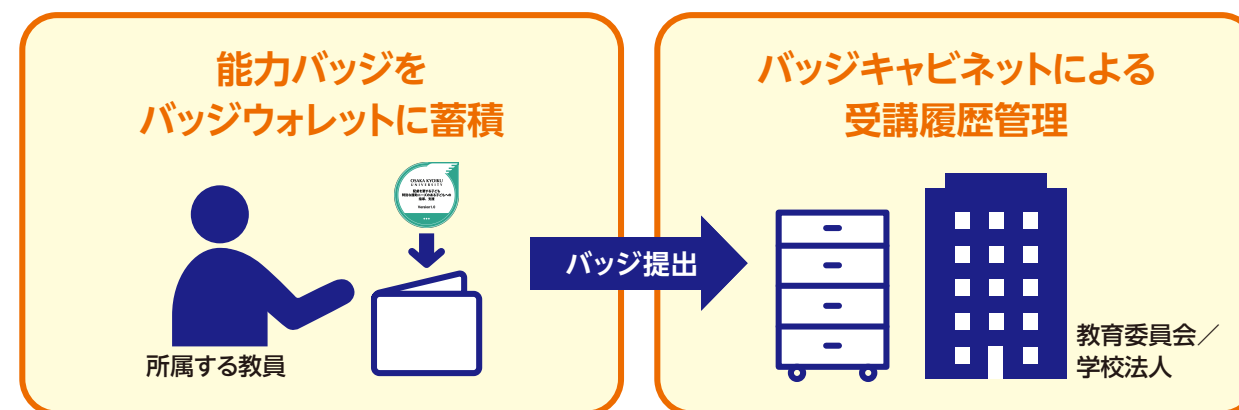
ビデオは2分から15分程度で一つの学習が完結するマイクロラーニングの仕組みを取り入れているため、隙間時間を利用して、少ない負担で学び続けることが可能です。

マイクロラーニングイメージ



## デジタルバッジによる管理・可視化

すべての学習内容を修了することで、デジタルバッジが発行されます。教員は取得したデジタルバッジをバッジウォレットに蓄積し、自身の学びを可視化できます。また、バッジキャビネットに所属教員がバッジを提出することで教育委員会等はバッジキャビネットを通して、所属教員の受講履歴を管理・可視化することができ、適切な指導・助言を行うことが可能になります。



バッジキャビネットのご利用には教育委員会・学校法人等によるお申込みが必要です。  
問合せ先までご連絡ください。